

TPPってなあに???

(環太平洋連携協定)

どうなるの?!

「100害あって1利なし」

● 食の安全より
アメリカの利益優先

● BSE感染につながる
月齢の高い牛の輸入
規制緩和へ

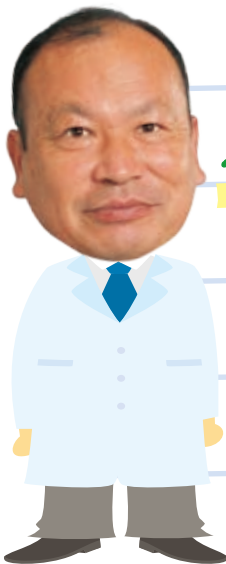
● 大腸菌まみれの
ポテト輸入押し付け

● 食品添加物
農薬使用
規制緩和へ



国民の8~9割が世論調査で、「政府はTPPに対して説明が十分でない」と訴えているのに、野田首相は、米国ホノルルで開催されたアジア太平洋経済協力会議に出席、TPP交渉に参加するための協議に入ると表明しました。

被災地復興の最大の妨げになり、食料の安定供給を土台から崩すこと、国の食や医療の安心・安全、内需や雇用など経済そのものが破壊されてしまう大問題を明らかにして国民的立場で「TPP参加反対」の声をあげましょう。



金の切れ目が命の切れ目

保険証1枚あれば、いつでもどこでも平等に医療が受けられる我が国の皆保険制度。アメリカには公的医療が存在せず、医療も保険も全てビジネス・金儲けの対象です。「保険の効かない医療・混合診療」を拡大、共済制度の解体など「命の重さ」と逆行するTPPには断固反対です。

残業代なし

いつでも首切りOKなんて信じられない!

農林水産省は、TPP参加で、国内総生産(GDP)が8兆4000億円減り、350万人の雇用が減ると試算しています。国や自治体の公共事業が国際入札になったり、労働法規制の規制緩和が一気に進められる可能性があります。「大企業さえ儲ければ」に終止符を打ちましょう。



子どもの米飯給食 どうなるの?

TPP参加は、関税撤廃が原則・条件。農水省は、コメの自給率は1割以下、食料自給率は39%から13%まで落ち込むと試算しています。子どもの健やかな成長を願って、安心・安全の地産地消など言ってもらえません。

自給率を高め、豊かな食育を進めましょう。



川西市議会
「TPPには参加しないよう国に
対して意見書提出を求める」請願

否決に

日本共産党議員団、自治市民クラブのみ賛成

全国で「参加反対」「慎重対応」の声続出
1167万筆(JA全中)の署名と共に
44道府県1425市町村議会から意見書

賛成した議員	反対した議員
住田・森本・北野・黒田 宮坂・北上	秋田・松田・岡・津田・福西 土田・吉富・吉田・大崎・鈴木 平岡・大矢根・江見・宮路・久保 梶田・安田末・多久和・安田忠

※小山議員は議長

敬称略

議会報告

2011年 秋冬季号

日本共産党
川西市会議員団



住田由之輔 TEL・fax759-4541 北野のり子 TEL・fax793-9515
黒田 みち TEL・fax790-3055 森本たけし TEL・fax757-2127

川西市中央町12-1 川西市役所6F 日本共産党市会議員団控室
TEL 072(740)1111 (内線 4020) メール jcp-kawanisigi@helen.ocn.ne.jp

ホームページをごらんください

共産党川西

検索

